

# Netfinity 1000

## セットアップ・ガイド

SA88-6402-01  
(英文原典 : 37L6975)





# Netfinity 1000

SA88-6402-01  
(英文原典 : 37L6975)

## セットアップ・ガイド

お願い

本書をご使用になる前にivページの『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

## 第 2 版 (1999 年 8 月)

原 典： P/N 37L6975  
Netfinity 1000  
Start Here

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.4

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

---

# 目次

セットアップの概要	iii
安全に正しくお使いいただくために	iv
絵表示について	iv
サーバーの開梱	1
サーバーの配線	2
サーバーの始動	3
オプションの取り付け	4
ソフトウェアのインストール	5
機能一覧	6
ヘルプ情報の入手	8
商標	8

---

## セットアップの概要

この資料は、サーバーの開梱、配線、および始動、ならびにネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストールに必要な情報を提供します。この資料には、機能、ヘルプ情報、ならびにシステム図などの一般的情報が含まれています。

詳細な情報が必要な場合、あるいは取り付けるオプションがある場合は、IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブックを参照してください。

以下はサーバーをセットアップし、サーバーが正常に機能していることを確認するための各ステップです。

1. 安全情報 資料をお読みください。
2. サーバーを開梱し、パッケージの中身を確認します。
3. サーバーを配線します。
4. サーバーを始動し、自己診断テスト (POST) を実行します。
5. オプションを取り付けます。
6. ハードウェアを構成します。
7. ソフトウェアをインストールします。



---

## 安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

### 絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

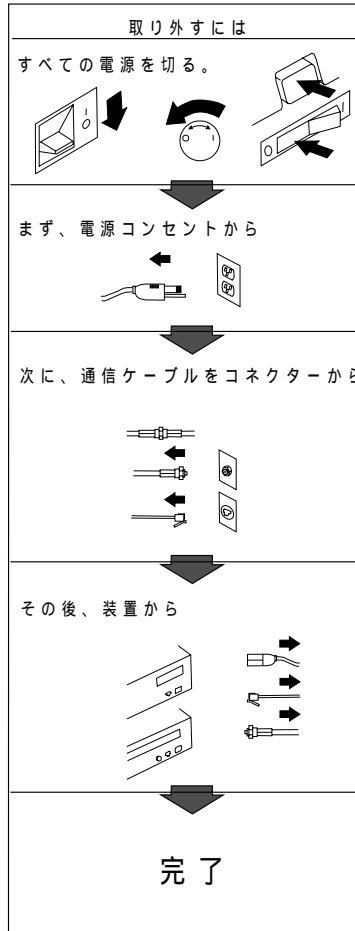
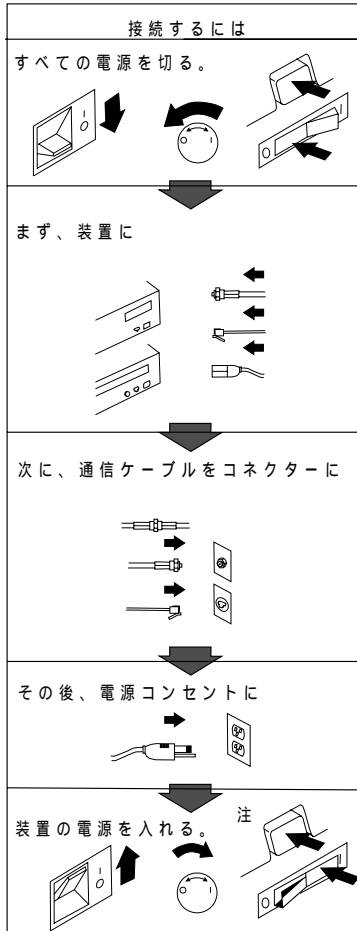
## 危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐにシステム・ユニットの電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

# ⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。





## 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。



---

## サーバーの開梱

以下の各品目が揃っていることを確認してください。

### ハードウェア:

- IBM® Netfinity® 1000 サーバー
- キーボード
- マウス
- システム電源コード
- 電源スイッチ・プロテクター
- サーバー・キー 2 個（サーバー背面のロックの上にあります）。

注：サーバー・キーを紛失した場合は、代わりにのロック機構とキーを IBM から取り寄せる必要があります。

### ソフトウェア:

- IBM 保守診断ディスク
- IBM ServerGuide® CD パッケージ
- その他のソフトウェア・パッケージ

### マニュアル類:

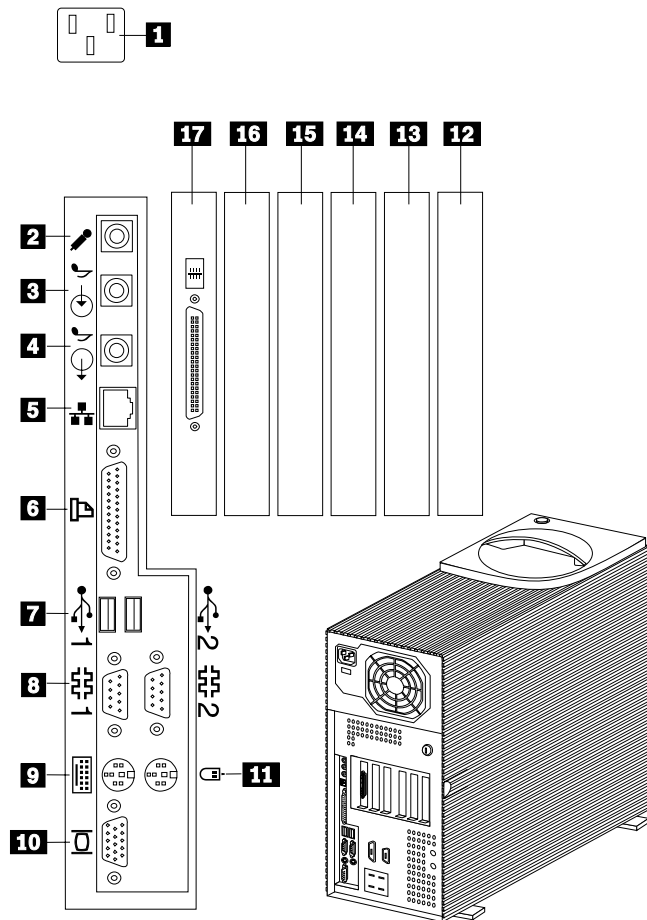
- IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック

万一、部品が不足または破損していた場合は、商品を購入した販売代理店または営業担当員に連絡してください。

## サーバーの配線

1. 空気の循環のよい場所を選びます。サーバーの周囲には、少なくとも以下のスペースを確保してください。
  - 前面に 102 mm
  - 背面に 127 mm
  - 左右に 51 mm
2. 以下の図を参照し、モニター、キーボードおよびマウス・ケーブルをサーバーに接続します。
3. すべての電源コードをコンセントに接続します。
4. 『サーバーの始動』(3 ページ) に進みます。

- 1** 電源コネクタ
  - 2** マイクロホン
  - 3** オーディオ・ライン入力
  - 4** オーディオ・ライン出力
  - 5** イーサネット (RJ-45)
  - 6** パラレル・ポート
  - 7** ユニバーサル・シリアル・バス (USB) 1 および 2
  - 8** シリアル・ポート 1 および 2
  - 9** キーボード
  - 10** モニター
  - 11** マウス
  - 12** ISA 拡張スロット
  - 13** ISA 拡張スロット
  - 14** ISA 拡張スロット
  - 15** PCI 拡張スロット
  - 16** PCI 拡張スロット
  - 17** PCI 拡張スロット
- 注: 外付け SCSI コネクタもこの PCI 拡張スロットを使用します。



## サーバーの始動

1. モニターの電源を入れ、次にサーバーの電源を入れます。次の図を参照してください。
2. モニターを見ます。

システムが始動テスト (POST) を正常に完了すると、始動可能 (ブート可能) 媒体の挿入を求めるプロンプトが表示されます。

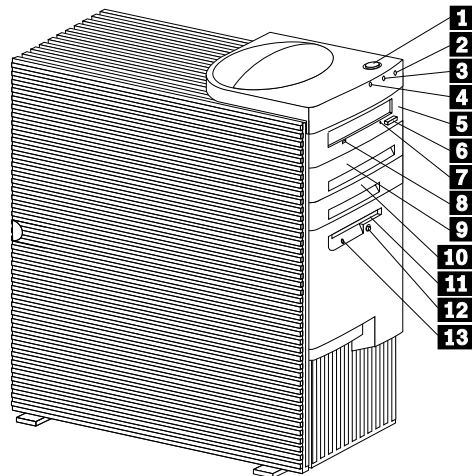
注: まだオペレーティング・システムをインストールしていないため、次のメッセージが表示されます。

1962 No operating system found. Press F1 to repeat boot sequence.

これ以外のエラー・メッセージが表示された場合、ビープ音が鳴った場合、またはモニター画面に何も表示されない場合は、*IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック* の『問題の解決』の章を参照し、その後ステップ 3 に進んでください。

3. *IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック* の『サーバーの記録と仕様』にある表に、サーバーのシリアル番号とキーのシリアル番号を記入します。
4. 4ページの『オプションの取り付け』に進みます。

- 1** 電源スイッチ
- 2** 電源オン・ライト
- 3** ハード・ディスク使用中ライト
- 4** イーサネット活動ライト
- 5** ベイ 1 (CD-ROM ドライブ)
- 6** CD-ROM 取り出し / ロード・ボタン
- 7** CD-ROM 緊急時取り出し穴  
(一部のモデルではベゼルの後ろにあります。)
- 8** CD-ROM ドライブ使用中ライト
- 9** ベイ 2
- 10** ベイ 3
- 11** ベイ 4 (3.5 インチ・ディスケット・ドライブ)
- 12** ディスケット取り出しボタン
- 13** ディスケット・ドライブ使用中ライト



---

## オプションの取り付け

オプションがある場合は、ここでそれを取り付けます。取り付け手順については、オプション付属の資料および *IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

すべてのオプションの取り付けが完了したら、ここに帰り、『ソフトウェアのインストール』(5 ページ)に進みます。*IBM ServerGuide* CD-ROM パッケージを使用し、ハードウェアの構成とソフトウェアのインストールを行います。

注:

- オプションを取り付けるときは、各オプションに必ず固有の割り込み要求 (IRQ) を割り当ててください。IRQ を重複させないでください。
- ベイ 2, 3, 5, および 6 に装置を取り付けるときは、取り付けを行う前に、その装置の終端を使用不可にしてください。
- 複数のネットワーク・アダプターを取り付ける場合、ここでは 1 つだけを取り付けてください。ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) をインストールし、それが正しく始動した後、追加のネットワーク・アダプターを 1 度に 1 つずつ追加します。
- サーバーの 10BASE-T または 100BASE-TX ポートをリピーターに接続する場合は、両側に RJ-45 コネクタを備えた UTP ケーブルを使用してください。10BASE-T および 100BASE-TX には、電磁的な互換性を含め、各種の基準を満たすため、EIA/TIA-568 カテゴリー 5 のケーブルを使用する必要があります。

オプションを *取り付けない* 場合は、『ソフトウェアのインストール』(5 ページ)に進みます。

---

## ソフトウェアのインストール

本サーバーには IBM ServerGuide が含まれています。ServerGuide CD は、本サーバーに関してテスト済みのデバイス・ドライバーの簡単なインストール方法を提供しています。

ServerGuide CD のプログラムを使用することにより、以下のことを行うことができます。

- サポートされるハードウェアの CD からの直接構成
- 一部のネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストール・ステップの自動化
- サーバーに導入済みのサポートされるハードウェアの検出、ならびにそのハードウェアについてテスト済みのデバイス・ドライバーの提供

注: これらのシステム固有のデバイス・ドライバーの一部は、購入したNOS パッケージに含まれるドライバーよりも新しくなっています。

- 複数サーバーへの Windows NT Server 4.0 のインストールのための "複製インストール" 提供
- ポピュラーなアプリケーション・プログラムの CD からの直接インストール
- IBM アップデート・コネクタのインストール。このプログラムがインストールされると、本サーバーを IBM アップデート Web サイトに接続し、入手可能なデバイス・ドライバー、BIOS、およびプログラムの更新を受け取ることができます。(インターネットにアクセスするには、Windows NT Server 4.0 およびTCP/IP が必要です。)
- その他のアプリケーションおよびユーティリティー・プログラムのインストール

詳細については、ServerGuide パッケージに同梱されている資料を参照してください。

NOS のインストールの補助に ServerGuide を使用しない場合は、システム固有の NOS インストール手順をダウンロードする必要があります。

最新レベルの NOS インストール手順、デバイス・ドライバー、BIOS、および診断プログラムを WWW の次のアドレスからダウンロードすることができます: <http://www.pc.ibm.com/pc/support>

**1 IBM Servers Support** をクリックします。

**2 select family** フィールドで、**Netfinity 1000** をクリックします。

**3 Netfinity 1000** ウィンドウのリストで、モデルをクリックします。

- デバイス・ドライバーをダウンロードするには、**Downloadable Files** をクリックします。
- NOS インストール手順をダウンロードするには、**Software information** をクリックします。

## 機能一覧

次の表は、IBM Netfinity 1000 サーバーの機能をまとめたものです。下にリストされている機構の詳細については、*IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

### マイクロプロセッサ

- Intel® マイクロプロセッサ（速度およびタイプはモデルによって異なります。）
- 66 MHz または 100 MHz フロント・サイド・バス (FSB)
- レベル 1 およびレベル 2 キャッシュ・メモリーはマイクロプロセッサによって異なります。

### メモリー

- 3.3 V、同期、168-pin デュアル・インライン・メモリー・モジュール(DIMM) ソケット 3 個
- 64 MB、768 MB まで拡張可能
- 100 MHz、同期ダイナミック・ランダム・アクセス・メモリー (SDRAM) (エラー検出および訂正 (ECC)付き)
- 32 MB、64 MB、および 128 MB バッファなし DIMM<sup>1</sup>または 256 MB レジスタ付き DIMM<sup>1</sup>をサポート
- システム・プログラム用のフラッシュ・メモリー

### ディスケット・ドライブ

- ディスケット・ドライブを 1 台サポート
- 標準: 3.5 インチ 1.44 MB ドライブ 1 台

### ハード・ディスク

- ハード・ディスクの数および容量はモデルによって異なります。
- サーバーは最大 4 台の内蔵ハード・ディスクをサポートします。

### CD-ROM ドライブ

- 標準: IDE

### キーボードおよび補助装置

- キーボード
- マウス

### 拡張スロット・コネクタ

- ISA 専用スロット・コネクタ 3 個
- PCI 専用スロット・コネクタ 3 個
- AGP 専用スロット・コネクタ 1 個

### 拡張ベイ

- 標準: CD-ROM 用専用 5.25 インチ・ドライブ・ベイ 1 個
- 3.5 インチまたは 5.25 インチ・ドライブ・ベイ 1 個
- 3.5 インチ・ドライブ・ベイ 4 個
- 拡張のための空および利用可能ベイの数は、モデルによって異なります。

### アップグレード可能な POST および BIOS

- システム・ボード上の EEPROM を更新するための、POST/BIOSアップグレード (入手可能なとき)

### セキュリティ機能

- ボルト固定機能
- シャシー侵入検出機能
- 始動パスワードと管理者パスワード
- セキュリティ・エラー・インディケータ
- 選択可能なドライブの始動順序
- サイド・カバー・ロック
- 無人開始モード

### SCSI 機構 (SCSI アダプターが本サーバー・モデルに付属する場合)

- 16-bit UltraSCSI アダプター
  - 外付けコネクタ 1 個
  - 内蔵コネクタ 1 個
- 本サーバーは最大 4 台の内蔵 SCSI ハード・ディスクをサポートします。

### 電源装置

- 330ワット
- 自動感知機能
- 過負荷保護およびサージ保護機能を内蔵

### 組み込み機能

- マイクロプロセッサ用の電圧調整器
- シリアル・ポート 2 個
- ユニバーサル・シリアル・バス (USB) ポート 2 個
- パラレル・ポート 1 個
- マウス・ポート
- キーボード・ポート
- 全二重 10/100 Mbps イーサネット・コントローラ
  - 10BASE-T/100BASE-TX ポート
  - 低マイクロプロセッサおよびバス利用率のための組み込みの直接メモリー・アクセス (DMA) バッファ管理
- システム・ボードの AGP 機能
  - 4 MB 同期グラフィックス・ランダム・アクセス・メモリー (SGRAM), 100 MHz
- システム管理コントローラ

始動時に **F1** を押すと、サーバーの構成情報を表示することができます。詳細については *IBM Netfinity 1000 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

<sup>1</sup> 重要: レジスタ付き DIMM とバッファなし DIMM をサーバー内で混用することはできません。レジスタ付き DIMM を使用するためには、バッファなし DIMM をサーバーからすべて取り外す必要があります。





---

## ヘルプ情報の入手

問題の多くは、オンライン・ヘルプを使用したり、サーバーやソフトウェア付属のオンライン資料または印刷資料を参照することによって、解決することができます。また、ソフトウェアに付属の README ファイルの情報も必ずお読みください。自分自身で問題を解決できない場合には、購入店または IBM に問い合わせてください。

この業界で最も優れたスタッフのサポートを得ることができます。訓練を受けた IBM 担当員がサーバーのセットアップからハードウェアやソフトウェアの問題に至るまで、ユーザーのいかなる問題も支援します。

### 電話による問い合わせ

問い合わせを行う際は、以下の情報を準備しておいてください。また可能な場合は、サーバーを操作できる位置にいてください。

- ご使用のサーバー、モニター、およびその他の構成要素の製造番号
- 問題点の説明
- エラー・メッセージの正確な記述
- ご使用のシステムに関するハードウェアおよびソフトウェア構成情報

### WWW の使用

IBM 製品およびサポートに関する最新情報については、IBM WWW サイトの以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/>

これらのページから各国の Web サイトを選択することができます。

### 追加サポート

本セクションで説明されているものと類似するサービスが、IBM販売店または購入先から利用できる場合があります。詳しいことは、ご利用の販売業者にお問い合わせください。

---

## 商標

以下の用語は、米国またはその他の国における IBM Corporation の商標です。

- HelpCenter
- IBM
- Netfinity
- ServerGuide

Intel, MMX, および Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

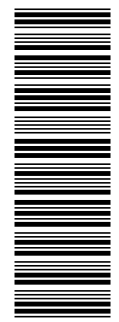




部品番号: 46L3486

Printed in Japan

1999年8月



46L3486

日本アイビーエム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6402-01